

2021年8月30日

在学生、保護者の皆様

副学長（教務担当） 朴 昌明

2021年度秋学期の授業実施方法等について

本学における2021年度の授業については、新型コロナウイルス感染の社会情勢を注視しつつ、引き続き感染防止措置を徹底するとともに、可能な限り対面型授業を基本として開講できるよう「[2021年度の授業実施方法に関する基本方針](#)」を策定し、春学期においては、受講者が一定数を超える授業や定員を減らした教室の状況により、授業（科目・回数）によっては、オンライン型やハイブリッド型で実施し、秋学期については、本年3月の段階で「対面予定」としてご案内をしていたところです。

しかしながら、首都圏での感染状況は厳しく、医療体制についても逼迫した状況が続いております。また、変異株の影響等で若い世代の感染者が増加しており、大学生世代での感染拡大が危惧されている現状です。

このような状況下であり、秋学期の授業実施方法について、春学期と同様に対面型授業とオンライン型やハイブリッド型で実施することといたしました。

併せて、通学圏内に戻らずに実家のある地方や母国に滞在することを選択した学生をはじめ、学生本人や同居家族に基礎疾患を有するなど事情のある学生、ワクチンの未接種などの事情により感染への不安がある学生に対しては、対面型授業受講の代替としてオンラインによる受講や課題提示などの措置を講じています。

なお、緊急事態宣言の延長、学内感染の拡大など感染リスクがさらに高まった場合には、一定期間の対面授業の縮小・全面的停止など授業方法を変更する場合があります。今後の更新情報は、公式ホームページや在学生ポータルサイト（ポタロウ）で確認してください。

記

（1）授業の基本方針

春学期と同様に可能な限り対面型での授業実施を基本とします。ただし、感染予防対策に基づき教室定員を減らした状況により、受講者が一定数を超える授業はオンライン型やハイブリッド型で実施します。

※1) 授業科目別の開講計画の詳細については、秋学期開講前の適切な時期に在学生ポータルサイト等で改めてお知らせします。

※2) オンライン授業では、駿河台大学共通利用eラーニングシステム「Moodle（ムードル）」を主に使用します。これは、各種資料や課題の提示、レポート提出、小テスト実施機能等がある授業支援システムです。パソコンのみならず、Moodleのモバイルアプリを取得することで、タブレット端末やスマートフォンでも利用できます。

（2）対面授業に関する特例措置

通学圏内に戻ることが困難な事情のある学生や学生本人または同居家族に基礎疾患等を有する

学生、ワクチンの未接種等の事情により感染への不安を抱える学生等に対して、所定の手続きによりオンラインや課題など対面以外の方法で授業を学べる特例措置を講じます。

申請方法については、学生ポータルサイト（ポタロウ）で別途お知らせをいたしますが、春学期に「2021年度春学期対面授業等 特例措置申請」を行った学生で、秋学期も引き続き特例措置を希望する場合には、改めて秋学期の特例措置申請を行ってください。

以上